2021-22

産学協力

学術の社会的連携・協力の推進

2021-22

独立行政法人 日本学術振興会

1. 事業趣旨

独立行政法人日本学術振興会（JSPS）は、学術の振興を目的とする我が国の中核的な機関として、科学技術基本計画などの国の学術振興に関する方針を踏まえ、学術研究への助成、研究者養成のための支援、学術に関する国際交流の促進とともに、学術の社会的連携・協力の推進事業を行っています。

我が国の学術の進展には目覚ましいものがあり、従来の学界等を中心とする学術研究に対して、産業界等、社会の各方面から具体的な諸課題の解決を目指した多様な期待と要請が寄せられています。このため、学界と産業界の第一線の研究者が相互に交流を行い、今後の科学技術上の諸問題について、時間をかけて情報交換・研究発表を行い、刺激を与え合うような産学協力の橋渡しの場を設けることは、極めて有意義なことであると考えられます。

本会では新たな事業運営のあり方等に係る検討を行い、令和２年度より再整理を行った本事業の意義・目的に基づく新たな運営方針の下で産学の指導的研究者による「産学協力総合研究連絡会議」を設け、主題別に「産学協力委員会」、「産学協力研究委員会」、「研究開発専門委員会」、「先導的研究開発委員会」を設定し事業を運営しています。

本事業の意義・目的

組織や研究分野の垣根を越えた学術研究に基づくシーズと現代社会からのニーズの融合をもって、我が国の研究力向上に貢献していくため、学界と産業界の連携が必要でありながらも十分ではない研究領域、研究態様などについて、それぞれのセクターの第一線の研究者等からの発意により産学協力の場を新たに構築し、新たな研究（＊）の方向性を検討の上産学共同研究等につなげていく。

＊：ここでいう研究は、基礎研究、応用研究、開発研究という研究の指向性や段階を問うものではありません。

2. 事業内容

産学協力総合研究連絡会議

本会では、「産学協力総合研究連絡会議」を設け、学界と産業界等との協力について総合的な検討を行い、学界と産業界等から提案された産学協力委員会に対する審査、本事業の意義・目的を踏まえた今後の発展を促すべき産学協力についての研究開発専門委員会及び先導的研究開発委員会の検討などを行っています。

産学協力委員会

本会では、令和2年度より、本事業の意義・目的を踏まえ、その趣旨に賛同した学界と産業界の会員が参加するフォーラムとして、公募・審査を実施の上、「産学協力委員会」を設定しています。参加する会員は、自主的で自律的な委員会の運営の下で、社会情勢を見据えたボトムアップ事業を自らの発意により推進しており、自由でインフォーマルな研究発表、情報交換を行い、広く学術研究に貢献しています。当該フォーラムで行われる活動内容については、フォーラムの参加者が責任を負うものとし、その結果の責任も同時に負うものとしています。

産学協力研究委員会*

本会では、学界と産業界の緊密な連携のもとに基礎研究、応用研究及び開発研究に関する自由でインフォーマルな研究発表、情報交換を行う場として、テーマ別に「産学協力研究委員会」を設けることにより、産学協力の場を提供しています。

＊令和６年３月31日に終了予定

研究開発専門委員会・先導的研究開発委員会

本会では、今後の発展を促すべき適切な研究課題、学界及び産業界からのニーズの高まりが予想される先導的な研究課題について調査し議論するため、「研究開発専門委員会」、「先導的研究開発委員会」を設け、産学協力を推進しています。

3．各委員会一覧

令和３年４月１日現在活動している委員会は以下一覧の通りです。令和３年４月１日現在、46委員会（学界約1,800名、産業界約900名の計2,700名）が活発に活動しています。

産学協力委員会

委員会名	委員長	所属	職名	期間
R021 食と未病マーカー委員会	阿部　啓子	東京大学	特任教授	令和2(2020).4～令和7(2025).3
R022 量子構造生物学委員会	三木　邦夫	京都大学	名誉教授	令和2(2020).4～令和7(2025).3
R023 レジリエントインフラのための次世代建設材料の創成委員会	下村　　匠	長岡技術科学大学	教授	令和2(2020).4～令和7(2025).3
R024 電磁波励起反応場委員会	和田　雄二	東京工業大学	名誉教授、特任教授	令和2(2020).4～令和7(2025).3
R025 先進薄膜界面機能創成委員会	田畑　　仁	東京大学	教授	令和2(2020).4～令和7(2025).3
R026 先端計測技術の将来設計委員会	杉山　昌章	大阪大学	特任教授	令和2(2020).4～令和7(2025).3
R031 ハイブリッド量子ナノ技術委員会	平川　一彦	東京大学	教授	令和3(2021).4～令和8(2026).3
R032 産業イノベーションのための結晶成長委員会	藤岡　　洋	東京大学	教授	令和3(2021).4～令和8(2026).3

産学協力研究委員会

委員会名	委員長	所属	職名	期間
製鋼第19委員会	森田　一樹	東京大学	教授	平成29(2017).10～令和5(2023).3
鋳物第24委員会	木口　昭二	近畿大学	名誉教授	平成29(2017).10～令和5(2023).3
産業計測第36委員会	出口光一郎	東北大学	名誉教授	平成30(2018). 4～令和5(2023).3
製銑第54委員会	埜上　　洋	東北大学	教授	平成30(2018). 4～令和5(2023).3
素材プロセシング第69委員会	山口　勉功	早稲田大学	教授	平成30(2018).10～令和6(2024).3
炭素材料第117委員会	羽鳥　浩章	産業技術総合研究所	副研究センター長	平成28(2016).10～令和4(2022).3
産業構造・中小企業第118委員会	堀　　潔	桜美林大学	教授	平成29(2017). 4～令和4(2022).3
繊維・高分子機能加工第120委員会	奥林　里子	京都工芸繊維大学	教授	平成29(2017). 4～令和4(2022).3
耐熱金属材料第123委員会	竹山　雅夫	東京工業大学	教授	平成30(2018). 4～令和5(2023).3
先進セラミックス第124委員会	目　　義雄	物質・材料研究機構	特命研究員	平成30(2018). 4～令和5(2023).3
光電相互変換第125委員会	金光　義彦	京都大学	教授	平成30(2018).10～令和6(2024).3
先端材料強度第129委員会	横堀　壽光	帝京大学	特任教授	平成30(2018).10～令和6(2024).3
染色堅ろう度第134委員会	堀　　照夫	福井大学	客員教授	平成29(2017). 4～令和4(2022).3
将来加工技術第136委員会	星出　敏彦	京都大学	名誉教授	平成29(2017). 4～令和4(2022).3
プロセスシステム工学第143委員会	山下　善之	東京農工大学	教授	平成28(2016). 6～令和4(2022).3
結晶加工と評価技術第145委員会	柿本　浩一	九州大学	教授	平成29(2017).10～令和5(2023).3
超伝導エレクトロニクス第146委員会	吉川　信行	横浜国立大学	教授	平成29(2017).10～令和5(2023).3
アモルファス・ナノ材料と応用第147委員会	井上　光輝	豊橋技術科学大学	教授	平成30(2018).10～令和6(2024).3
プラズマ材料科学第153委員会	渡邉　隆行	九州大学	教授	平成30(2018). 4～令和5(2023).3
制震（振）構造・モニタリング技術第157委員会	池田　芳樹	京都大学	教授	平成31(2019). 1～令和6(2024).3
インターネット技術第163委員会	下條　真司	大阪大学	教授	平成28(2016).10～令和4(2022).3
ゲノムテクノロジー第164委員会	油谷　浩幸	東京大学	教授	平成28(2016).10～令和4(2022).3
シリコン超集積システム第165委員会	平本　俊郎	東京大学	教授	平成28(2016).11～令和4(2022).3
透明酸化物光・電子材料第166委員会	藤村　紀文	大阪府立大学	教授	平成29(2017). 4～令和4(2022).3
ナノプローブテクノロジー第167委員会	吉村　雅満	豊田工業大学	教授	平成29(2017).12～令和5(2023).3
次世代のスイッチング方式電源システム第173委員会	鍋島　　隆	大分大学	名誉教授	平成28(2016).10～令和4(2022).3
分子ナノテクノロジー第174委員会	山下　一郎	大阪大学	特任教授	平成28(2016).10～令和4(2022).3
リスクベース設備管理第180委員会	酒井　潤一	早稲田大学	名誉教授	平成29(2017). 4～令和4(2022).3
分子系の複合電子機能第181委員会	芥川　智行	東北大学	教授	平成30(2018). 4～令和5(2023).3
テラヘルツ波科学技術と産業開拓第182委員会	廣本　宣久	静岡大学	名誉教授	平成30(2018).10～令和6(2024).3
生体ひかりイメージング技術と応用第185委員会	星　　詳子	浜松医科大学	教授	平成28(2016).10～令和4(2022).3
放射線科学とその応用第186委員会	神野　郁夫	京都大学	教授	平成29(2017). 4～令和4(2022).3
メタマテリアル第187委員会	石原　照也	東北大学	教授	平成29(2017).10～令和5(2023).3
計測分析プラットフォーム第193委員会	一村　信吾	早稲田大学	教授	平成30(2018). 4～令和5(2023).3
分子性触媒による高度分子変換技術第194委員会	寺田　眞浩	東北大学	教授	平成30(2018). 4～令和5(2023).3
放射線の利用と生体影響第195委員会	米倉　義晴	大阪大学	特任教授	平成31(2019). 4～令和6(2024).3

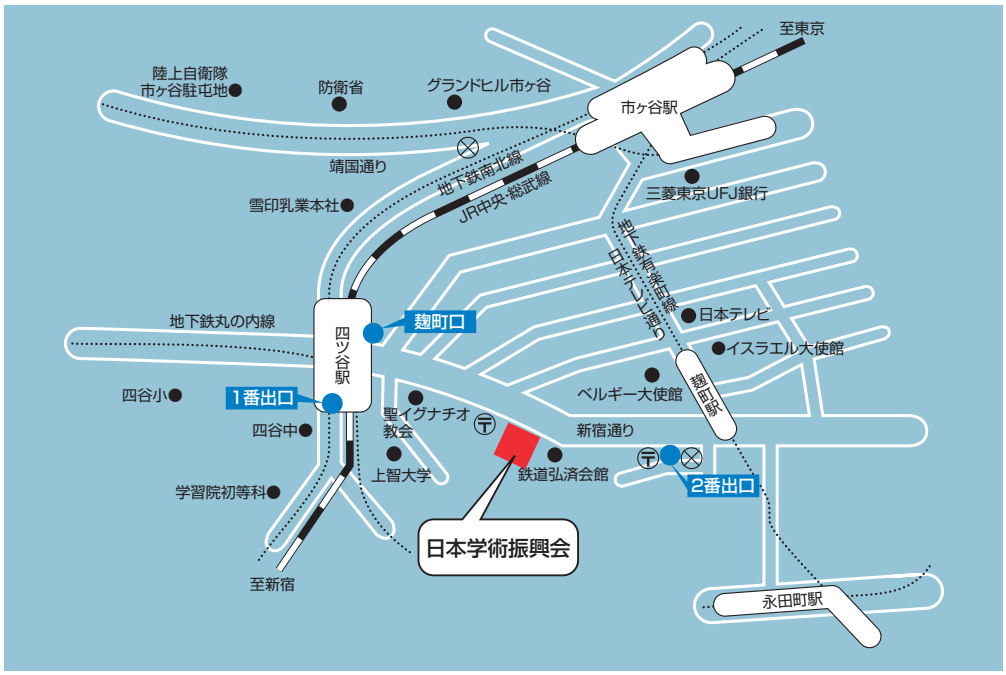
※委員長の情報は令和３年３月１日までに届出があった情報をもとに掲載しています。

研究開発専門委員会、先導的研究開発委員会

委員会名	委員長	所属	職名	期間
研究開発専門委員会・リソースロジスティクスに基づくサプライチェーンリスク戦略	長坂　徹也	東北大学	教授	平成30(2018).10～令和3(2021).9
研究開発専門委員会・電力と情報通信のネットワーク基盤の融合による超スマート社会	尾辻　泰一	東北大学	教授	平成30(2018).10～令和3(2021).9

※令和３年４月１日現在、採択されている先導的研究開発委員会はありません。

日本学術振興会所在地



・東京メトロ有楽町線麹町駅２番出口より徒歩約５分
・JR四ツ谷駅麹町口または東京メトロ丸の内線・南北線１番出口より徒歩約５分

独立行政法人　日本学術振興会
研究事業部　研究事業課　産学協力係
Japan Society for the Promotion of Science
〒102-0083　東京都千代田区麹町5-3-1
麹町ビジネスセンター
TEL 03-3263-1728
ホームページ　https://www.jsps.go.jp

※本パンフレットは、一般社団法人日本工業倶楽部からいただいた支援をもとに発行しています。